

高周波インバータ RINV-xx-xx



・メガヘルツの高周波領域のスイッチングインバータです。効率・軽量で価格も抑えられます。各種工業用途に最適です。

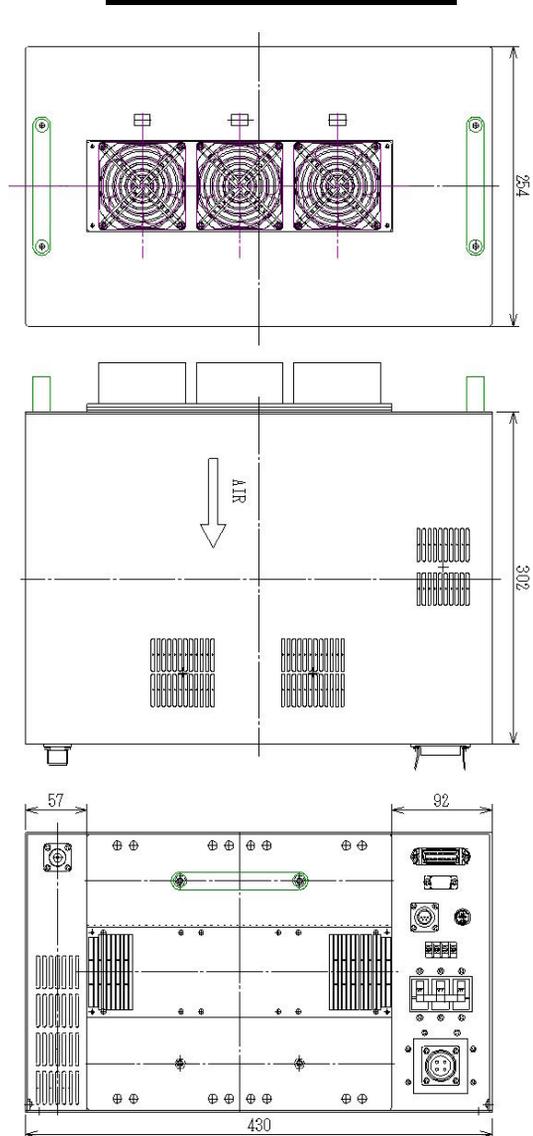
・各種誘導・誘電加熱装置・振動子駆動等にご利用戴けます。

・整合器併用の場合は、弊社基本ラインナップのほか、用途に合わせた、最適なものも製作致します。

仕様・定格

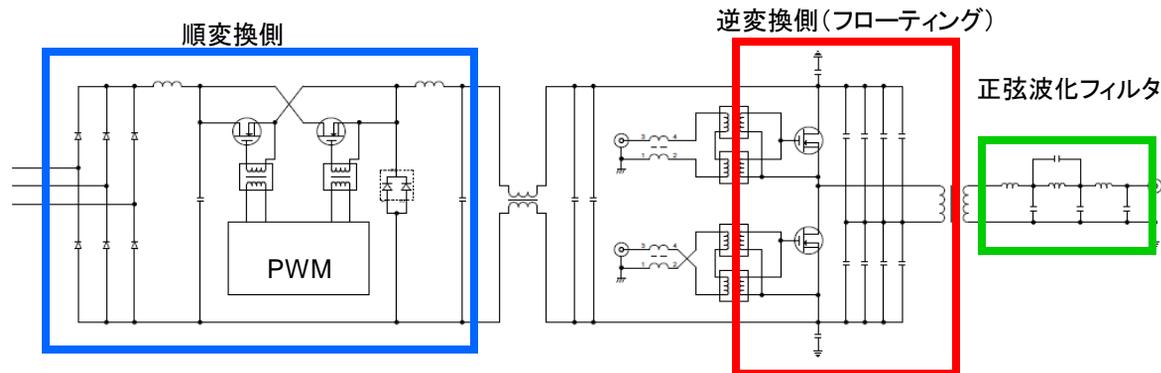
No	項目	仕様
1	周波数	13.56MHz (100kHz~20MHzまでの周波数に応じます)
2	定格出力	1500W 10kW 3000W 5000W
3	周波数偏差	1kHz以内
4	スプリアス	-50dB以下 (電波法令に準拠)
5	回路方式	MOSFETハーフブリッジ型
6	操作・表示	リモート専用
7	電源電圧	AC200V三相 約4500W(3000Wの例)
8	冷却	ファンによる風冷
9	出力コネクタ	HN-R
10	その他のコネクタ	ACIN MS3102 4p 制御 DDK57-40240
11	セット内容	1 本体 2 リモコンユニット 3 ACケーブル 4 リモコンケーブル 5 説明書 6 試験成績書

外形寸法(3kW)モデル



本機は基本的には、トランスレス構成です。
漏洩電流を規定する用途(たとえば医療用)には向
きません

原理図



動作解説

本機の順変換側 (AC→DC)は、3相整流後にシリーズチョッパを採用し、出力の増減をおこないます。またここは、高調波を押さえる意味で平滑(電解コンデンサ)はおこなっていません。

順変換側(高周波出力部)はフローティング構造とし、AC整流電力をそのまま受電できる構成としています。

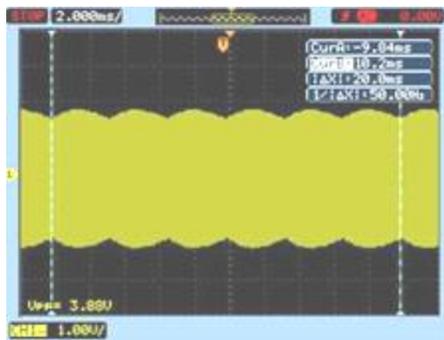
ここではハーブリッジの高速スイッチング回路を採用し、高効率を得ています。

出力された高周波は、フィルタを通じて正弦波として外部へ供給します。

(本品の基礎回路は1988年弊社がプラズマ用途に開発・発表しました)

参考

RF出力電圧



本機は、低周波のインバータに倣い平滑をおこなっていません。

本機のRF出力波形は写真のように、リップルが含まれますが自動整合器の運転には支障はありません。

型番

RINV-xx-yy-zz	xx	: 公称出力
	yy	: 周波数
	zz	: 向け先記号

用途

- ・誘導加熱装置
- ・誘電加熱装置
- ・振動子駆動
- ・ランプ点灯
- ・プラズマ発生